

第 39 回埼玉県小児在宅医療支援研究会

日時： 2021 年 2 月 3 日（水） 19：00～21：00

場所： オンライン（zoom ウェビナー）

テーマ： 経腸栄養～ミキサー食の奇跡！～

事前登録 URL：

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_qmtW4waEQVGPYLZ_G_DYMA

ご登録後、ウェビナー参加に関する確認メールが届きます。

<スケジュール>

19：00～19：10 ご挨拶

19：10～19：40 合田文則先生

19：45～20：15 浅野一恵先生

20：20～20：40 藤川友子さま

20：40～20：50 奈倉「経腸栄養コネクタ ISO 80369-3 への移行について」

講演者：

① 合田 文則（千里リハビリテーション病院 副院長）

元、香川大学医学部附属病院准教授兼、腫瘍センター長。現在は千里リハビリテーション病院に勤務。2012 年に日本静脈経腸栄養学会会長を務められました。「液体栄養剤症候群」を提唱され、その治療として粘度の高い半固形化栄養材の胃瘻注入を推奨しておられます。

② 浅野 一恵（社会福祉法人小羊学園「つばさ静岡」医務部長）

つばさ静岡で重症児者の経口摂食を奨めるとともに、食形態の開発に取り組み、2018 年に日本摂食嚥下リハビリテーション学会の「発達期摂食嚥下障害児（者）のための嚥下調整食分類 2018」の作成に中心的役割を果たされました。その知見は市販の介護食「なめらか定食」（ホリカフーズ）、「ソイムース」（宮源）の開発にも生かされました。ミキサー食の料理教室を開き、多くの患者さんや栄養士さんを指導されています。

③ 藤川 友子（医療的ケア児家族の会「NPO 法人 mamacare」代表）

Leigh 脳症にて経腸栄養を受けていた息子さんが多発性の慢性湿疹を発症し、経腸栄養剤注入からミキサー食注入に切り替えたところ、湿疹が軽快して健康を取り戻されました。その体験を語って頂きます。